

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (301), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価項目, 現状, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (304), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価項目, 現状どおり推進, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	311	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	焼却灰処理事業(放射能対策)		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成27年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.1人		
	⑦事業費(人件費含む)	総事業費	186,480千円		当該(開始)年度	(当初)	168,395千円 (うち人件費 890千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進め、暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となり、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			事業目的	焼却施設から発生する焼却灰を最終処分場に埋立処分することなく、資源としてリサイクルすることで資源循環型社会を実現する。 しかし、現在は、放射能対策のため埋立処分をしており焼却灰のうち一部のみのリサイクルをしていく。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設に保管している主灰と飛灰を委託で中間処理して、路盤材としてリサイクルする。 ・これまで混合灰として搬出していた焼却灰を飛灰と主灰に分離したため、埋立処分が可能となったのでリサイクルに併せて埋立処分を実施していく。 ・放射能対策として、リスク分散のため複数の処分場と契約し処理委託する。 ・複数の処分場へ処理委託するため複数の所在市に埋立処分量に相当する環境協力負担金を収める。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草や落葉を可燃ごみから分別回収し、焼却しないことで焼却灰の放射能濃度の低減を図る。 ・焼却灰を飛灰と主灰に分離排出ができる設備を25年度に設置し、飛灰の排出の際には直接運搬車両への積込が可能となった。 				
		当該年度活動結果指標	灰の処分量	単位	t	想定値	4,100		実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	可燃ごみ焼却量の削減(3%)				直接	灰の処分量		t	4,500	4,100
3年後	同上				直接	同上		t	0	4,100
最終(概ね5年後)	同上				直接	同上		t	0	3,700
(7) 事業実施上の課題と対応	一般廃棄物を自区域外に処分する場合には、中間処理場や埋立処分場のある市町村との協議に基づき合意を得る必要がある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	実績値(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		焼却灰の溶融固化処理 300t×43, 100×1.08	13,965	焼却灰の溶融固化処理 400t×43, 100×1.08	18,620		焼却灰の溶融固化処理 300t×43, 100×1.08	18,620	焼却灰の溶融固化処理 300t×43, 100×1.08	18,620
		焼却灰運搬処分(主灰・飛灰) 2,500t×30, 000×1.08	81,000	焼却灰運搬処分(主灰・飛灰) 2,500t×31, 000×1.08	83,700		焼却灰運搬処分(主灰・飛灰) 2,500t×31, 000×1.08	83,700	焼却灰運搬処分(主灰・飛灰) 2,500t×31, 000×1.08	83,700
		焼却灰処分(主灰・飛灰) 600t×18, 000×1.08	11,664	焼却灰処分(主灰・飛灰) 600t×18, 000×1.08	11,664		焼却灰処分(主灰・飛灰) 600t×18, 000×1.08	11,664	焼却灰処分(主灰・飛灰) 600t×18, 000×1.08	11,664
焼却灰運搬(1台当り10t以上) 500t×15, 000×1.08	8,100	焼却灰運搬(1台当り10t以上) 500t×15, 000×1.08	8,100		焼却灰運搬(1台当り10t以上) 500t×15, 000×1.08	8,100	焼却灰運搬(1台当り10t以上) 500t×15, 000×1.08	8,100		
焼却灰運搬(1台当り10t以下) 100t×18, 000×1.08	1,944	焼却灰運搬(1台当り10t以下) 100t×18, 000×1.08	1,944		焼却灰運搬(1台当り10t以下) 100t×18, 000×1.08	1,944	焼却灰運搬(1台当り10t以下) 100t×18, 000×1.08	1,944		
焼却灰運搬処分業務 500t×29, 500×1.08	15,930	焼却灰運搬処分業務 600t×29, 500×1.08	19,116		焼却灰運搬処分業務 500t×29, 500×1.08	19,116	焼却灰運搬処分業務 500t×29, 500×1.08	19,116		
環境保全協力負担金(主灰・飛灰)	3,290	環境保全協力負担金(主灰・飛灰)	3,220		環境保全協力負担金(主灰・飛灰)	3,220	環境保全協力負担金(主灰・飛灰)	3,220		
* 消耗品(キレート剤)	20,898	* 消耗品(キレート剤)	21,141		* 消耗品(キレート剤)	21,141	* 消耗品(キレート剤)	21,141		
* 飛灰ストック用ラックレンタル料	517									
予算(済)額	合計		157,308	合計		167,505	合計		167,505	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源	135,893		146,364		146,364		146,364		
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	21,415	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	21,141	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	21,141	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	21,141		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.1		0.1		0.1		
	正職員人件費	910		890		890		890		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	158,218		168,395		168,395		168,395			
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	40.57千円/t		41.07千円/t							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	既存の焼却施設から発生する焼却灰は、ダイオキシンを含有しているためそのまま埋立することができない。循環型社会を実現するため、新たな資源化を進めていく。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由>				○要 ○不要		
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>				○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 市民のごみ分別により焼却灰の処分が適性に行われる。								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>				焼却灰の資源化が再開できるよう近隣の事業者の調査を行っていく。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(t)	目標値(b)(t)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	4,500	4,100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(t)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過				
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>				
	168,395	△10,177	<削減の内容>		<超過理由等>		○要 ○不要				
事業費削減率(%)		△6.43									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下				
	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				
	t	10万円									

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	316	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	不法投棄防止対策事業	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	環境経済部・クリーンセンター			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.9人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初) 11,698千円 (うち人件費 8,010千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	一般廃棄物対策基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携し、不法投棄防止に関する情報及び通報には即応すると共に、投棄現場の地権者には再発防止対策等を促し、不法投棄防止についての協力を求めていく。また、産廃については県の管理下にあり、保管場所等で疑わしい場所は大規模な不法投棄に発展しないよう県との連絡を密にし、未然防止を図る。平成28年度は不法投棄の多発地帯に人感センサー付監視カメラを設置する。			事業目的	不法投棄や野焼きを未然に防止するため、パトロールの強化や、ゴミゼロ運動等により市民の快適な生活環境を確保する。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	(不法投棄) 重点地区パトロール、不法投棄ごみ回収 (ゴミゼロ運動) 4月 自治会、スポーツ少年団に協力要請し参加を募る 野焼き指導、古利根沼清掃 環境美化推進員、不法投棄監視員、協業組合、許可業者等に協力要請 6月 県下一斉産廃パトロール 5月 参加団体へ用具の配布、集積所の地図作成 12月 手賀沼ふれあい清掃 5月29日(日) ゴミゼロ運動実施				
					当該年度活動結果指標	パトロール及び通報件数	単位	回	想定値	250
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	不法投棄パトロールを強化し、発生件数や回収量を減らす。			直接	不法投棄回収量		t	12.43	15.2	
3年後	同上			直接	同上		t	0	15	
最終(概ね5年後)	同上			直接	同上		t	0	14.8	
(7) 事業実施上の課題と対応	不法投棄は夜間に多発しており、夜間パトロールも必要である。ゴミゼロ運動は収集業務委託により車両、人員の確保が課題になる。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	実績値(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		消耗品(看板、他)	288	消耗品(看板、他)	395		消耗品(看板、他)	395	消耗品(看板、他)	395
		不法投棄委託料	785	不法投棄委託料	528		不法投棄委託料	528	不法投棄委託料	528
		車両維持費	319	車両維持費	333		車両維持費	333	車両維持費	333
臨時職員(賃金)	1,800	臨時職員(賃金)	1,800		臨時職員(賃金)	1,800	臨時職員(賃金)	1,800		
			* <★政策費★>							
			* 不法投棄防止用監視カメラ設置	632						
			合計	3,192	合計	3,688	合計	3,056	合計	3,056
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	33%	210	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			3,192			3,478			3,056
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		1		0.9		0.9		0.9	
	正職員人件費		9,100		8,010		8,010		8,010	
	嘱託職員報酬額		318		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		1,800		1,800		1,800	
事業費(予算(済)額+正職員人件費)			12,292		11,698		11,066		11,066	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			50.38千円/回		46.79千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	市民の快適な生活環境を確保するとともに環境美化の推進を図る。近年、我孫子市においても一般廃棄物(廃家電、タンス類等)少量の不法投棄が増加の傾向にあります。監視、指導体制を強化することにより、不法投棄の拡大を抑制する。ゴミゼロ運動により「緑豊かな美しいまちづくり」と「資源循環型社会の構築」に寄与する。また、監視カメラを設置することにより未然防止が図られる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		ゴミゼロ運動や通報については、自治会、環境美化推進員、不法投棄監視員等の協力を得て、ボランティアグループには、ごみ袋の提供、当日出たごみの回収を行うことで協働で実施する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		不法投棄の未然防止。また、不法投棄された場合でも早期発見、早期回収をすることにより、環境負荷の軽減につながる。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(t)	目標値(b)(t)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	12.43	15.2	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(t)	(b/f) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	11,698	594	<削減の内容>			<超過理由等>			
事業費削減率(%)		4.83							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.13		●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
						(e/h) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (319), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (320), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 27, 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for comments.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1938), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2180), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2016-2020.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for comments and future strategies.